



**2010年度 第1四半期決算**

**カンファレンスコール用資料**

**2010年8月3日**

**参天製薬株式会社**



**2010年度 第1四半期**

**連結業績概要**

**執行役員 管理本部長**

**原田 哲**

# 2010年度 第1四半期 決算概況

(単位：億円)

	2009年度 第1四半期 実績	2010年度 第1四半期 実績	対前年 同期 増減率
売上高	293.0	262.1	▲ 10.5%
営業利益	103.0	66.3	▲ 35.6%
経常利益	104.7	71.4	▲ 31.8%
四半期 純利益	65.4	45.7	▲ 30.1%

※1 2009年度第1四半期実績の売上高には、技術導出契約に関連する一時金収入等が、約31.1億円含まれています。

※2 2010年度第1四半期実績の売上高には、同一一時金収入等が、約1.4億円含まれています。



2010年度 第1四半期

# 売上高の増減要因 (対前年同期比較)

2009年度  
第1四半期  
実績売上高  
293.0億円

▲30.9億円

2010年度  
第1四半期  
実績売上高  
262.1億円

## 国内: ▲0.1億円

- + 医療用眼科薬 +2.3億円
- + 抗リウマチ +0.3億円
- + 一般用医薬品 ▲3.0億円
- + 医療機器 +1.0億円
- + その他 ▲0.7億円

## 海外: ▲30.8億円

- + 欧州 +0.6億円  
(うち為替 ▲1.3億円)
- + 北米 ▲31.3億円  
(うち為替 ▲0.1億円)
- + アジア ▲0.2億円  
(うち為替 ▲0.2億円)  
うち中国 +0.6億円  
(うち為替 ▲0.3億円)  
うち韓国 ▲0.8億円  
(うち為替 +0.1億円)

### 国内医療用眼科薬

- + 抗菌 ▲0.6億円
- + 角膜 ▲1.8億円
- + 緑内障 +7.0億円  
(うちタプロス +7.6億円)
- + アレルギー ▲0.5億円
- + その他 ▲1.6億円

### 欧州

- + 医療用眼科薬 +1.2億円  
(うち西欧 +1.0億円  
(うちドイツ +0.9億円)  
うち東欧 ▲0.5億円  
うち北欧 +0.5億円  
うちロシア +0.1億円)

<為替レート>

2009年度1Q実績		2010年度1Q実績	
US\$	97.20円	US\$	91.98円
Euro	129.76円	Euro	121.59円
中国元	13.90円	中国元	13.29円



# 損益計算書の要約差異(対前年同期比較)

(単位:億円)	2009年度 第1四半期 実績	2010年度 第1四半期		
		実績	増減	主な増減要因
売上高	293.0	262.1	▲30.9	
売上原価 (対売上高比率)	85.8 29.3%	85.4 32.6%	▲0.4 3.3pt	技術導出収入の影響
販売費・一般管理費 (対売上高比率)	104.0 35.5%	110.3 42.1%	6.3 6.6pt	
研究開発費を除く販管費 (対売上高比率)	74.6 25.5%	76.5 29.2%	1.9 3.7pt	国内、欧州、アジア販売費増加
研究開発費 (対売上高比率)	29.3 10.0%	33.8 12.9%	4.5 2.9pt	
営業利益 (対売上高比率)	103.0 35.2%	66.3 25.3%	▲36.7 ▲9.9pt	
営業外収益	3.8	5.2	1.4	
営業外費用	2.1	0.1	▲2.0	
経常利益	104.7	71.4	▲33.3	
特別利益	-	0.0	0.0	
特別損失	0.0	1.1	1.1	
税引前四半期純利益	104.6	70.4	▲34.2	
法人税等	39.2	24.6	▲14.6	
四半期純利益	65.4	45.7	▲19.7	

<為替レート>  
 2009年度1Q実績      2010年度1Q実績  
 US\$ 97.20円      US\$ 91.98円  
 Euro 129.76円      Euro 121.59円  
 中国元 13.90円      中国元 13.29円



**參考資料**  
**2010年度第1四半期**  
**連結業績概要**



# セグメント別売上高

(単位:億円)	2010年度 第1四半期 実績					
	国内		海外		合計	
	売上高	対前年同期 増減率	売上高	対前年同期 増減率	売上高	対前年同期 増減率
医薬品事業	<b>222.4</b>	<b>▲0.5 %</b>	<b>35.1</b>	<b>▲46.6 %</b>	<b>257.5</b>	<b>▲11.0 %</b>
医療用医薬品	212.5	0.9 %	35.1	▲46.6 %	247.7	▲10.4 %
眼科薬	185.1	1.3 %	33.9	▲1.2 %	219.1	0.9 %
抗リウマチ薬	25.6	1.2 %	0.1	▲0.0 %	25.8	1.2 %
その他医薬品	1.7	▲29.9 %	1.0	▲96.7 %	2.7	▲91.8 %
一般用医薬品	9.8	▲23.6 %	0.0	▲89.9 %	9.8	▲24.0 %
その他	<b>3.1</b>	<b>46.0 %</b>	<b>1.3</b>	<b>▲4.1 %</b>	<b>4.5</b>	<b>25.8 %</b>
医療機器	3.1	48.0 %	1.3	▲4.1 %	4.5	26.7 %
その他	0.0	▲41.7 %	—	—	0.0	▲41.7 %
合計	<b>225.5</b>	<b>▲0.0 %</b>	<b>36.5</b>	<b>▲45.7 %</b>	<b>262.1</b>	<b>▲10.5 %</b>



# 海外売上高

(単位:億円)	2009年度 第1四半期 実績	2010年度 第1四半期		
		実績	増減額	対前年同期 増減率
欧州	19.6	20.2	0.6	3.2 %
北米	33.3	2.0	▲31.3	▲93.8 %
アジア	14.3	14.1	▲0.2	▲1.0 %
その他	—	0.0	0.0	0.0 %
合計	67.3	36.5	▲30.8	▲45.7 %



# 貸借対照表

(単位:億円)	2010年3月末		2010年6月末		
	実績	構成比	実績	構成比	増減額
流動資産	1,188.3	71.2 %	1,134.3	71.0 %	▲53.9
固定資産	480.4	28.8 %	463.7	29.0 %	▲16.7
繰延資産	-	-	-	-	-
<b>資産合計</b>	<b>1,668.7</b>	<b>100.0 %</b>	<b>1,598.1</b>	<b>100.0 %</b>	<b>▲70.6</b>
流動負債	252.8	15.2 %	182.7	11.4 %	▲70.0
固定負債	39.8	2.4 %	40.8	2.6 %	1.0
<b>負債合計</b>	<b>292.7</b>	<b>17.5 %</b>	<b>223.6</b>	<b>14.0 %</b>	<b>▲69.0</b>
<b>純資産合計</b>	<b>1,376.0</b>	<b>82.5 %</b>	<b>1,374.4</b>	<b>86.0 %</b>	<b>▲1.6</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>1,668.7</b>	<b>100.0 %</b>	<b>1,598.1</b>	<b>100.0 %</b>	<b>▲70.6</b>

## 【主要変動科目】

- ◆流動資産：現金及び預金▲70億円、受取手形及び売掛金+24億円、短期繰延税金資産▲8億円
- ◆固定資産：建物及び構築物▲2億円、土地▲1億円、機械装置及び運搬具▲1億円、投資有価証券▲12億円、長期繰延税金資産+1億円
- ◆流動負債：未払金▲6億円、未払法人税等▲54億円、賞与引当金▲13億円
- ◆固定負債：退職給付引当金+1億円、資産除去債務+1億円
- ◆純資産：利益剰余金+11億円、その他有価証券評価差額金▲7億円、為替換算調整勘定▲6億円

# キャッシュフロー計算書 要約

(単位:億円)	2010年度 第1四半期 実績
現金等期首残高	643.4
現金等 増減額	▲68.3
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲33.8
投資活動によるキャッシュ・フロー	0.5
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲32.1
現金等に係る換算差額	▲2.9
現金等期末残高	575.1

(注) 上記「現金等」には現金同等物を含んでいるため、貸借対照表の現金及び預金とは一致しません

# 設備投資額/減価償却費/リース料

(単位:億円)	2009年度 第1四半期 実績	2010年度第1四半期	
		実績	増減額
設備投資額	2.0	1.9	▲0.1
減価償却費	7.8	6.8	▲1.0
リース料	1.7	0.6	▲1.1



**参考資料**  
**2010年度通期連結業績予想**

# 2010年度 連結予想概況

(単位:億円)	2009年度 通期実績	2010年度 通期予想	対前年 増減率
売上高	1,105.9	1,085.0	▲1.9%
営業利益	296.4	263.0	▲11.3%
経常利益	298.6	270.0	▲9.6%
当期純利益	187.2	175.0	▲6.5%
ROE	14.3%	12.3%	▲2.0pt

# 2010年度 連結業績予想

(単位:億円)	2009年度 通期実績	2010年度通期	
		予想	増減
売上高	1,105.9	1,085.0	▲20.9
売上原価	347.1	350.0	2.9
(対売上高比率)	31.4%	32.3 %	0.9 pt
販売費・一般管理費	462.4	472.0	9.6
(対売上高比率)	41.8%	43.5 %	1.7 pt
研究開発費を除く販管費	321.2	331.0	9.8
(対売上高比率)	29.0%	30.5 %	1.5 pt
研究開発費	141.2	141.0	▲0.2
(対売上高比率)	12.8%	13.0 %	0.2 pt
営業利益	296.4	263.0	▲33.4
(対売上高比率)	26.8%	24.2 %	▲2.6 pt
営業外損益	2.2	7.0	4.8
経常利益	298.6	270.0	▲28.6
特別損益	▲12.5	0.0	12.5
税引前当期純利益	286.1	270.0	▲16.1
法人税等	98.8	95.0	▲3.8
当期純利益	187.2	175.0	▲12.2
ROE	14.3%	12.3%	▲2.0pt

<為替レート>  
2009年度実績

US\$ 92.79円  
Euro 131.12円  
中国元 13.70円

2010年度予想

US\$ 90.00円  
Euro 125.00円  
中国元 13.30円



# 参考資料

## 国内医療用眼科薬市場概況

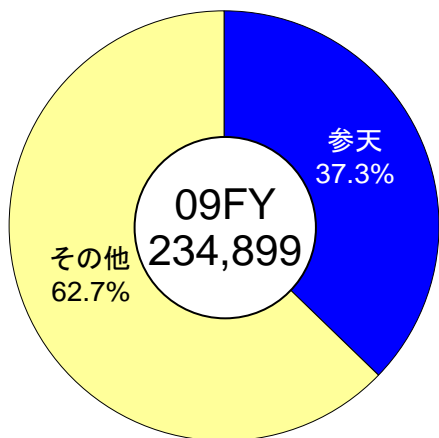


# 国内医療用医薬品：市場概況(眼科計・緑内障・角膜)

- ・眼科計：10FY1Qの市場規模は対前年+3.0%。網膜領域急成長の中、参天はシェア36.2%確保。
- ・緑内障：参天はタプロスが寄与し市場のペースを上回る伸長。シェアは23.8%。
- ・角膜：市場は対前年-1.7%と微減。参天の市場シェアは75.2%。

市場規模：百万円  
%：金額ベース

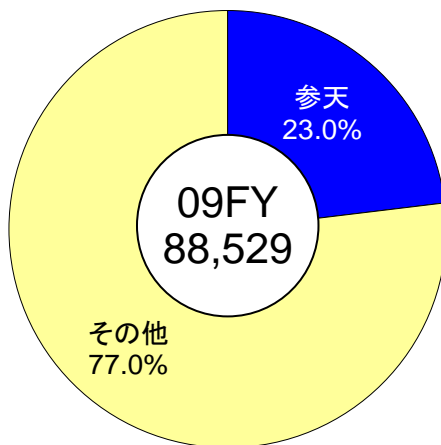
## 眼科薬計



09FY 10FY1Q

(金額) 前年比	市場	+3.5%	+3.0%
	参天	+1.7%	-2.1%
参天シェア		37.3%	36.2%

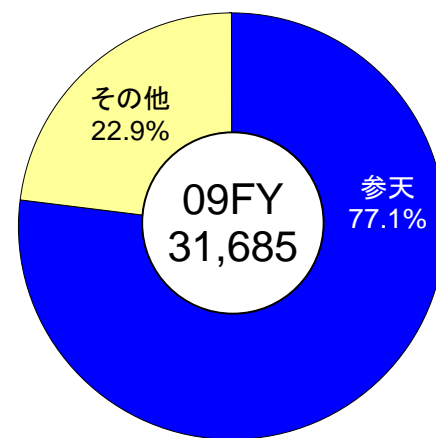
## 抗緑内障剤



09FY 10FY1Q

市場	+4.1%	+4.9%
参天	+18.4%	+11.2%
参天シェア	23.0%	23.8%

## 角膜疾患治療剤



09FY 10FY1Q

市場	+3.9%	-1.7%
参天	+3.0%	-4.5%
参天シェア	77.1%	75.2%

- 主な参天製品：
  - ・抗緑内障剤：タプロス、チモプトール/XE、レスキュラ、デタントール
  - ・角膜疾患治療剤：ヒアレイン

出典：©2010 IMS Japan  
IMS-JPM 2008-10を基に参天分析  
無断転載禁止



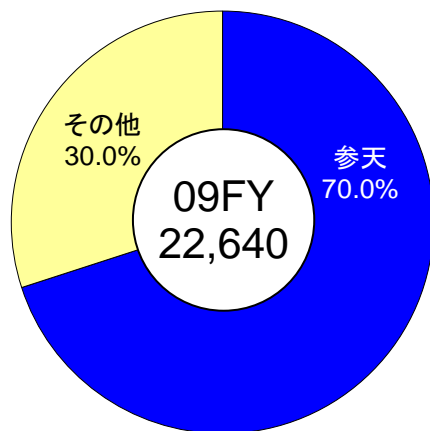


# 国内医療用医薬品：市場概況(抗菌・アレルギー)

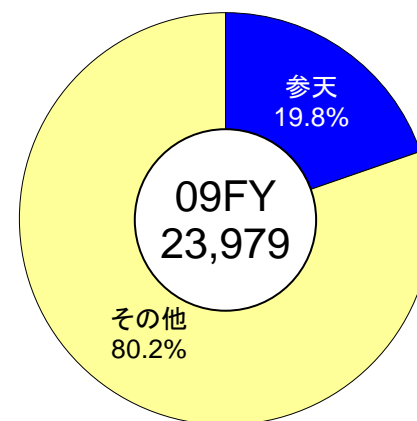
- ・抗菌：10FY1Qの市場規模は対前年-4.0%と減少。患者一人あたりの平均処方期間が短縮傾向。
- ・抗アレルギー：参天は市場の成長ペースを下回っている。競合品の伸長傾向が続く。

市場規模: 百万円  
%: 金額ベース

## 抗菌点眼剤



## 抗アレルギー剤



		09FY	10FY1Q
(金額) 前年比	市場	-4.4%	-4.0%
	参天	-5.6%	-6.0%
参天シェア		70.0%	68.3%

		09FY	10FY1Q
市場		-15.0%	-6.9%
参天		-19.7%	-19.6%
参天シェア		19.8%	18.8%

- 主な参天製品:
- ・抗菌点眼剤: クラビット、タリビッド
  - ・抗アレルギー剤: リボスチン、アレギサール



**2010年度 第1四半期**

# **新製品開発の現状**

**取締役 常務執行役員**

**研究開発本部長**

**西畑 利明**

# 主要臨床プロジェクト状況一覧 (赤字部分: 09FY4Q発表時からの変更点)

グローバル戦略品      グローバル品      日本(アジア)品

疾患領域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認
緑内障		DE-104 ROCK阻害剤	中国	DE-085 タフルプロスト	日本・欧州(上市) 香港・韓国(上市)
		DE-090 ロメリジン塩酸塩			
角膜疾患		DE-101 リボグリタゾン 米国      日本	中国	DE-089 ジクアホソルナトリウム	日本(承認)
		DE-110 SEGRA			
網膜疾患		DE-109 シロリムス			
		DE-102 ステロイドDDS			
その他 眼感染症 リウマチ		DE-098 抗APO-1抗体		DE-108 レボフロキサシン (高濃度)	

# S 主要臨床プロジェクトの現状

## ■DE-085 緑内障・高眼圧症

販売名：日本「タプロス」、他の参天地域「TAFLOTAN」、米メルク社\*「SAFLUTAN」

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/11発表時)	
日本	上市	上市	一般名： タフルプロスト 【上市開始】 日本：2008年12月 欧州：2008年6月～ アジア：2010年3月～
欧州**	上市：16カ国 承認：27カ国	上市：12カ国 承認：26カ国	
アジア	上市・承認：2カ国 中国：P3	上市・承認：2カ国 中国：P3	
米国	米メルク社*に販売権をライセンスアウト(2009年4月)		

### 【上市国】世界合計:19カ国

- ・参天：日本、アジア2カ国(香港、韓国)、欧州12カ国  
 (ドイツ、デンマーク、フィンランド、スウェーデン、ノルウェー、ポーランド、アイスランド、ラトビア、ゲルジア、チェコ、モルドバ、ウズベキスタン)
- ・米メルク社\*：欧州4カ国(イギリス、スペイン、オランダ、イタリア)

### 【承認国】世界合計:30カ国 (今回追加：イタリア)

\*米メルク社への販売権ライセンスアウト(2009年4月)：許諾地域はドイツを除く西欧、北米、南米、アフリカ

\*\*CIS諸国を含む

# 主要臨床プロジェクトの現状

## ■DE-089 ドライアイ 販売名：日本「ジクアス」

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/11発表時)	
日本	製造販売承認 取得	製造販売承認 取得(4/16)	一般名： ジクアホソルナトリウム
アジア	中国:P3	中国:P3	

# 主要臨床プロジェクトの現状 －緑内障・高眼圧症－

## ■DE-090

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/11発表時)	
日本	P2準備中	P2準備中	一般名： ロメリジン塩酸塩

## ■DE-104

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/11発表時)	
米国	P1/P2	P1/P2	ROCK阻害剤
日本	P2	P2	

# S 主要臨床プロジェクトの現状 – 角膜疾患 –

## ■ DE-101 角結膜上皮障害(ドライアイを含む)

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/11発表時)	
米国	P1/2*	P1/2*	一般名:リボグリタゾン
日本	P2b	P2b	

\*高用量製剤を追加したパイロットP2b試験

## ■ DE-105 遷延性角膜上皮欠損

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/11発表時)	
米国	P2準備中	P2準備中	ペプチド組合せ剤
日本	P2	P2	

## ■ DE-110 角結膜上皮障害(ドライアイを含む)、アレルギー性結膜炎

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/11発表時)	
米国	P2準備中	—	選択的グルココルチコイド受容体作動薬(SEGRA)

# 主要臨床プロジェクトの現状 —網膜疾患—

## ■DE-102 糖尿病黄斑浮腫

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/11発表時)	
日本	P1/P2	P1/P2	ステロイドDDS

## ■DE-109\* 滲出型加齢黄斑変性、糖尿病黄斑浮腫

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/11発表時)	
日本	P1/P2	P1/P2	一般名:シロリムス

\*2010年6月、MacuSight社より全世界でのシロリムス眼科用剤の開発・製造・販売権を取得。



# 主要臨床プロジェクトの現状 –その他–

## ■DE-108 外眼部感染症

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/11発表時)	
日本	製造販売承認 審査中	製造販売承認 申請(2/10)	一般名: レボフロキサシン (1.5%)

## ■DE-098 関節リウマチ

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/11発表時)	
日本	P1/P2	P1/P2	抗APO-1抗体
欧州	P1/P2	P1/P2	



## 将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward looking statements)を含みます。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 新薬の研究開発から承認・発売まで非常に長期間を要し、開発中止、承認申請後の不許可など不確実性を多く含みます。新製品に関わる見通しは、他社との開発・販売提携等を前提とするものが含まれており、こうした提携の成否は当社の業績や財務状況に影響を与える可能性があります。
- 現在発売している主要製品や将来発売が予定されている大型新薬が、万が一特許失効、製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により、販売中止となったり、売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。また、当社が販売している製品の多くは、他社から製造販売権、ならびに販売権を供与されていますが、契約期間満了後、契約条件の変更や、販売提携の解消などが起こった場合、業績に影響を及ぼします。
- 原材料の中には供給を特定の取引先に依存しているものがありますが、何らかの要因によりこうした原材料の供給が停止した場合や、これに起因して当社の製品の供給が滞った場合、業績に悪影響を及ぼす可能性があります。